●基本情報

胃	事業名(取組名) 定住促進事業						評価番号	1-1-2-2		
担当課 政策企画課 係 地域振興係				□ 予算なし						
	基本方針	【1】安全で人にやさしい快適なまちづくり				会計	計 【01】一般会計			
	基本施策	【1】快適な住環境の整備				款	【0102】総務費			
基本	施策	【2】良好な景観形成				項	【010201】総務	管理費		
計画		②空き家・空き地を活用	した定住の	足進	目	Ш	【01020107】地	域振興費		
	主な取組					事業	定住促進事業			

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称						
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成 2	7 年度	□ 事業開始年度不明			
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	7年度:令和	年度) ①)単年度繰り返し	○ 単年度のみ			
実施手法	☑ 町が直接実施(直営) □ 委託 □ 一部委託 □ 一部委託 □ 補助金等							
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	□ 町民協働 □ 指定管理 □ 事務局 □ その他 (
実施形態	□町単独 ✓国·県補助	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上乗り	せ) □その他	()			
事業概要	町外への人口流出や少 方へ交付する新築マイホ するため、移住定住PR動	ーム取得助成金制ル			olに,住宅を新築等した でのライフスタイルをPR			

●実施 ~D0~

事業 業績 ● ○令和3年度交付件数(全体):24件,交付金額(全体):865万円 うち町外からの転入:17件(17世帯44人),町内居住者(転居・建て替え):7件(7世帯28 人)、子育て加算件数(子育て世帯数):11件(11世帯)、テレワーク勤務加算:1件 ○移住者の方に出演いただき、移住を検討されている方の不安や疑問に答えていただく2分程度の 動画を3本(「テレワーカー編」、「働く女性編」、「起業編」)制作し、町公式Youtubeチャンネルで公 開しました。

		5 1 15 11 - 14-						
		主な歳出の節	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)		令和3年度(実績)	
		10 需用費	223, 355	円	30, 624	円	66, 957	円
		12 委託料	0	円	0	円	2, 145, 000	円
支	内	13 使用料及び賃借料	17, 000	円	0	円	0	円
出	訳	18 負担金,補助及び交付金	16, 910, 000	円	8, 510, 000	円	8, 749, 000	円
				丑		円		田
		その他		円		円		田
		事業費 計	17, 150, 355	円	8, 540, 624	円	10, 960, 957	田
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)		令和3年度(実績)	
		国支出金	7, 065, 000	円	3, 780, 000	円	5, 014, 000	円
		国支出金	7, 065, 000	円円	3, 780, 000	円円	5, 014, 000	円円
財	内		7, 065, 000		3, 780, 000		5, 014, 000	
財源	内訳	県支出金	7, 065, 000	円	3, 780, 000	円	5, 014, 000	円
		県支出金	7, 065, 000	円 円	3, 780, 000	円円	5, 014, 000	円円
		県支出金 受益者負担金 地方債	7, 065, 000	円 円	3, 780, 000 4, 760, 624	円 円 円	5, 014, 000 5, 946, 957	円 円 円

				O == : A !!! ! !! =
	O = 145 = 11	•		○ 見直す余地がある
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由	取得し、住宅を建築して	助成金の申請者の多くは、町内の土地を新規にていることから、定住促進が図られています。 当は町外からの転入世帯であり、定住人口の増 す。
性	@ m_ pp - h _ a = 7 yr lyl	•	妥当である	見直す余地がある
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由	本事業は、助成金制業主体となることが多	利度による定住促進を図っており, 町が事 そ当と考えます。
		0	余地がない	● 見直す余地がある
	③成果の向上余地			引助成金事業については、毎年、一定数の エルオオートなり 古際の人口は、体験
	事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由		っています。しかし,本町の人口は,依然 いており,さらなる定住促進施策の検討が
	0.4.1.11.1.2.2.11.11		可能性がある	● 可能性がない
1月	④廃止・休止の可能性			載少が続く本町において, 重要な事業であ 見ば必要と考えます。
効 性	事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由	り、継続した事業展開	Hか必安と考えまり。
			○可能性がある ○可能	を 類似事業はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由		
		0	131 210 01	余地がある
効	⑥事業費の削減余地			回制作業務については、国の補助により実 5.**#な済エレネミニュ
率 性	成果を下げずにコスト削減できます か。	理由	施しており、現状 の 事 	≣業費で適正と考えます。
		0	適正である	見直す余地がある
公	⑦受益者負担の適正化	0	受益者負担を求める事業では	はない
平	事業内容から受益者の負担割合は適正			
性	ですか。	理由		
		Ш		

<u> </u>	1 // 1.5/
	継続 (○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ● 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今後	新築マイホーム取得助成金について、令和3年度には、新しい働き方の普及に伴い、テレワークによる加算
1友 の	要件を創設しました。今後も,社会情勢の変化に対応した助成金制度となるよう努め,事業を継続します。 また,令和3年度に制作したPR動画については,次年度以降,本町への移住定住のPRのために活用し,引き
	続き移住定住促進を図ります。
向 性	│ さらに、次年度からの新規事業として、大学等を卒業後に本町へ居住する方を対象とした「利根町奨学金返 │ 還支援補助金 制度を実施します。
1.	是大版 III 均 显]

(評価対象年度 令和3年度) 令和4年度事務事業評価シート

●基本情報

哥	事業名(取組名)	組名) 公共交通対策事業					評価番号	1-3-10-1
担当課 政策企画課 係 政策企画係							□ 予算なし	
	基本方針	【1】安全で人にやさしい快適なまちづくり					【01】一般会計	
基	基本施策	【3】道路・交通網の整	【3】道路・交通網の整備				【0102】総務費	
本計	施策	【10】公共交通の充実	?		科目	項	【010201】総務	管理費
画	①公共交通の利便性の同					目	【01020106】企	画費
	主な取組					事業	公共交通対策事	業

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称							
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	年度	✓ 事業開始年度不明					
事業期間	○ 期間限定あり(事業終了	○ 期間限定あり (事業終了年度:令和 年度) ● 単年度繰り返し ○ 単年度のみ							
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	☑ 町が直接実施(直営) □ 委託 □ 一部委託 □ 一部委託 □ 補助金等							
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	□ 町民協働 □ 指定管理 □ 事務局 □ その他 ()							
実施形態	□町単独 ✓国·県補即	助事業 □国・県補助	り事業+町事業(上乗せ) □その他	<u>b</u> ()					
事業概要	通会議」を開催し、専門家の 新型コロナウイルス感染症:	公共交通に関するアン アドバイスを伺いなが 対応地方創生臨時交付	る内容や要望等を伺い、公共交通のケート調査」を実施し、学識経験者ら、町の公共交通の方向性について金を活用し、交通事業者に対し、支成田線沿線の活性化と利便性向上を	C検討します。 C援を行います。					

●実施 ~D0~

「利根町公共交通に関するアンケート調査」の結果において、ふれ愛タクシーの町外行先の追加に関する問いでは、JAとりで総合医療センター、JR成田線布佐駅などの希望が多くありました。そこで、そのアンケート調査結果をもとに、利根町地域公共交通会議を開催し、ふれ愛タクシーの新たな町外への乗り入れ先について協議をしていただき、新たな乗り入れ先として、JAとりで総合医療センターを令和4年度より運行することを決定しました。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した交通事業者への支援では、公共交通利用者の利便性の保持を図ることができました。また、常磐線沿線市町・成田線沿線市町で構成される同盟会・協議会へ参加し、他市町との情報交換を行うと共に、JRへの要望活動などを実施しました。

		主な歳出の節	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)		令和3年度(実績)	
		18 負担金,補助及び交付金	167, 000	円	8, 077, 000	円	1, 812, 000	円
		12 委託料		円	3, 998, 852	円		円
支	内	10 需用費		円	504, 625	円	47, 850	円
出	訳	13 使用料及び賃借料		円	360, 000	円	360, 000	円
		7 報償費		円	86, 800	円	119, 200	円
		その他	3, 160	円	28, 085	円	342, 092	円
		事業費 計	170, 160	円	13, 055, 362	円	2, 681, 142	円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)		令和3年度(実績)	
		国支出金		円	2710000	円	1, 650, 000	円
		県支出金		円		円		円
財	内	受益者負担金		円		円		円
源	訳	地方債		円		円		円
		その他		円		円		円
		一般財源	170, 160	円	10, 345, 362	円	1, 031, 142	円
		事業費 計	170, 160	円	13, 055, 362	円	2, 681, 142	円

				O = + + 0 111 111 -
	ATLMT DILL I ATLAN	•	貢献している	見直す余地がある
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由		D向上を図るためには、他市町との連携は 各同盟会・協議会への参加は目的の達成 ると考えます。
性	②町関与の妥当性		妥当である	○ 見直す余地がある
	町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由	要に応じた住民の生活し 利便の増進を図り、地域	会議設置要綱第1条にある通り、地域における需 こ必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の 或の実情に即した輸送サービスを実現するため 事業を行うことが妥当であると考えます。
	· · · · ·	0	余地がない	● 見直す余地がある
	③成果の向上余地			動計画を策定することにより、これから実
	事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	地していく事業等の分場合の引継ぎの役割できます。	方向性を整理し、また、担当者が変わって とはたすなど、成果を向上させることがで
		0	可能性がある	● 可能性がない
有効	④廃止・休止の可能性			也域公共交通会議の実施等による情報共有
効 性	事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。		か途絶えることは事美 で、廃止の可能性はあ	ἔ目的達成を妨げることに繋がりますの ありません。
	○年M古来上の休存入 古供の古牝44		○可能性がある ○可能	能性がない ●類似事業はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由		
		0	3. 23.04	余地がある
効	⑥事業費の削減余地			旦金は,情報交換や連携を図るうえで必要 はコストはないため,これ以上の削減の余
率 性	成果を下げずにコスト削減できますか。	理由	地はありません。	ずコハ Γιαないため、 これのエの削減の示
		0	適正である	見直す余地がある
公	⑦受益者負担の適正化	•	受益者負担を求める事業で	はない
平	事業内容から受益者の負担割合は適正			
性	ですか。	理由		
		Н		

	継続 (○ 現状維持 ○ 縮小 (●) 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今	令和4年度における事業の取組については、現在参加している同盟会や協議会において、他市町との情報交換
後	を行うとともに連携の強化に努めます。その他、成田線活性化推進協議会では、新たな事業として成田線沿線
の 方	の駅周辺の清掃活動に取り組んでいきます。 また、町の新たな取組としては、町の公共交通の利便性向上を図ることを目的とした地域公共交通計画を策
	よた、町の新たな収益としては、町の五矢又通の利侯性向工を囚るととを占的とした地域五兵又通計画を収 定するため、地域公共交通会議を開催し、専門家等のアドバイスを伺いながら公共交通の利便性向上に取り組
性	み、令和6年度内の策定を目指します。

(評価対象年度 令和3年度) 令和4年度事務事業評価シート

●基本情報

事	事業名(取組名)	ふれ愛タクシー運行	事業			評価番号	1-3-10-2		
担当課 政策企画課 係 政策企画係							□ 予算なし		
	基本方針	【1】安全で人にやさし	まちづくり		会計	【01】一般会計			
基	基本施策	【3】道路・交通網の整	【3】道路・交通網の整備				【0102】総務費		
本計	施策	【10】公共交通の充実	?		科目	項	【010201】総務	管理費	
画	主な取組	②公共交通サービスの確	:保			目	【01020106】企	画費	
	エな収租					事業	ふれ愛タクシー	運行事業	

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称						
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	20	年度	事業開始年度	不明	
事業期間	○ 期間限定あり(事業終了年度:令和 年度) ● 単年度繰り返し ○ 単年度のみ							
実施手法	☑ 町が直接実施(直営) □ 委託 □ 一部委託 □ 一部委託 □ 補助金等							
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指定管理 □ 事務局 □ その他 ()							
実施形態	☑町単独 □国·県補田	助事業 □国・県補助	事業+町事業(.	上乗せ)	□その他	()	
事業概要	デマンド型乗合タクシ 町内以外に、関東鉄道 者の利便性に配慮します	竜ケ崎駅,龍ケ崎	の移動手段を 斉生会病院へ			することにより、	利用	

●実施 ~D0~

		主な歳出の節	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)		令和3年度(実績)	
		12 委託料	8, 343, 210	円	14, 242, 000	円	8, 133, 000	円
		1 報酬		円	3, 983, 239	円	4, 176, 810	円
支	内	10 需用費	1, 074, 792	円	864, 755	円	1, 273, 828	円
出	訳	7 報償費		円	482, 700	円	720, 300	円
		11 役務費	197, 132	円	238, 321	円	200, 269	円
		その他	3, 508, 610	円	174, 642	円	87, 076	円
		事業費 計	13, 123, 744	円	19, 985, 657	円	14, 591, 283	円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)		令和3年度(実績)	
		国支出金		円	5, 762, 700	円	720, 300	円
		県支出金		円		円		円
財	内	受益者負担金	2, 643, 150	円	2, 261, 000	円	2, 854, 800	円
源	訳	地方債		円		円		円
		その他		円		円		円
		一般財源	10, 480, 594	円	11, 961, 957	円	11, 016, 183	円
		事業費 計	13, 123, 744	円	19, 985, 657	円	14, 591, 283	円

			貢献している 見直す余地がある
妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由	デマンド交通は交通弱者の移動手段の確保が目的であるため、公共交通サービスの確保に貢献しているといえます。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由	妥当である
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。		・ 余地がない ● 見直す余地がある ・
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由	● 可能性がある ● 可能性がない デマンド交通は交通弱者の移動手段の確保が目的であります。今後事業拡大の可能性は考えられますが、廃止の可能性はありません。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。		○可能性がある●可能性がない○類似事業はない他の交通サービスとして、町内を巡回する福祉バス(福ちゃん号)がありますが、ドア・ツー・ドアで運行するふれ愛タクシーとは運行形態が違うことから、統廃合は考えておりません。
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。		余地がない ○ 余地がある 町の直営事業であり、人件費、燃料費など運営費用は必ず必要となるため、これ以上のコスト削減の余地はありません。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	_	適正である

●改書	手 ~ACTION~
	継続 (○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ● 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今後	「利根町公共交通に関するアンケート調査」を実施した結果、ふれ愛タクシーの町外行先の追加に関する問い では、JAとりで総合医療センターの希望が多くありました。
の	この結果をもとに利根町公共交通会議を開催し、ふれ愛タクシーの新たな乗り入れ先について協議を行い、
方向	ふれ愛タクシーを1台増車し、JAとりで総合医療センターを令和4年度より運行することを決定しました。 また、令和4年度にはふれ愛タクシー利用者アンケート調査を実施予定ですので、集計データを参考としなが
性	ら利用者の利便性向上のため、事業の改善や拡大について検討します。

●基本情報

事業名(取組名)		健康増進施設整備の検討					評価番号	2-1-1-4	
担当課		政策企画課	政策企画課 係 地域振興係				✓ 予算なし		
	基本方針	【2】いつまでも健康で元気あふれるまちづくり			7	会計			
	基本施策	【1】健康づくりの推進			予算	款			
基本	施策	【1】健康づくりの強化	1】健康づくりの強化			項			
計画		④健康増進施設整備の検	討		目	目			
	主な取組					事業			

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	● なし ○ あり	名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	令和 1	年度	事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	年度:令和	年度) ①)単年度繰り返し	○ 単年度のみ
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託 □	全部委託 [一部委託	□ 補助金等
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指定	官管理	□ その他	()
実施形態	☑町単独 □国·県補助	事業 国 ・県補助	事業+町事業(上乗	せ) □その他	()
事業概要	令和元年度に実施したます。 す。	基礎調査の結果に	基づき,健康増	進施設の整備 に	こついて検討を進めま

●実施 ~D0~

事業業績		学校跡地を含む既存施設を活用した健康増進施設の整備について、検討を進めました。						
		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)			
_								
支出	内訳							
		事業費計						
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)			
		国支出金						
		県支出金						
財	内	受益者負担金						
源	訳	地方債						
		その他						
		一般財源						
		事業費 計						

		● 貢献している ○ 見直す余地がある
	①政策目的との整合性	学校跡地を含む既存施設の活用について、検討を進めまし
	事業目的が上位政策(主な取組)の達	理。た。
妥	成に貢献していますか。	曲
妥当性		妥当である 見直す余地がある
	②町関与の妥当性	健康増進施設の整備については、町が主体となって検討を進
	町が事業主体として事業を行うことが	世
	妥当ですか。	由
	③成果の向上余地	● 余地がない 見直す余地がある
	<u> </u>	既存施設の活用による整備について、引き続き検討を行いま っ。
	事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理」。
		○ 可能性がある ● 可能性がない
1月	④廃止・休止の可能性	健康増進施設の整備については、引き続き、検討を進めてい
効 性	事業の内容や成果から廃止・休止でき	く必要があると考えます。 理
'-	ますか。	曲
		○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性	一 可能性がある 一 可能性がない
	類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理
		直
	⑥事業費の削減余地	● 余地がない ○ 余地がある
効 率		事業費は予算計上していません。
性	成果を下げずにコスト削減できます か。	理由
		○ 適正である ○ 見直す余地がある
<i>ا</i> لا	⑦受益者負担の適正化	● 受益者負担を求める事業ではない
公 平	- 事業内容から受益者の負担割合は適正	
性	ですか。	理 由

継続 (● 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
【理由】
今後は、学校跡地を含む既存施設の活用や民間活力を活用した整備について、検討を進めていきます。

●基本情報

事業名(取組名)		企業誘致推進事業					評価番号	4-2-6-1	
	担当課	政策企画課	係 地域振興係						
	基本方針	【4】みんなが集まるおもしろいまちづくり				会計	【01】一般会計		
	基本施策	【2】地域特性を活かした商工業の育成			予算	款	【0102】総務費		
基本	施策	【6】雇用の促進	【6】雇用の促進			項	【010201】総務	管理費	
計画		①企業誘致による新たな	雇用の創出	Ħ	┛目	目	【01020107】地	域振興費	
_	主な取組					事業	企業誘致推進事	業	

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	21 年度	□ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終	了年度:令和	年度)	単年度繰り返し	単年度のみ
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	〔 全部委託	□ 一部委託 〕	□ 補助金等
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ :	旨定管理		他 ()
実施形態	☑町単独 □国·県袖	助事業 □国・県補助]事業+町事業(_	上乗せ) □その他	g ()
事業概要	遊休地や企業撤退跡は条例及び規則に基づき			た,企業誘致推議	進のため,企業立地促進

●実施 ~D0~

利根町企業立地促進条例に基づく「企業立地奨励金」を1件交付しました。また、ホームページ等で企業誘 致推進のための奨励金制度について周知を行いました。

事業 業績

		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		8 旅費	Ħ	5,148 円	円
		18 負担金,補助及び交付金	PI	20, 000, 000 円	2, 793, 200 円
支	内		Ħ	円	円
出	訳		P	円	円
			P	Ħ	円
			Ħ	円	Ħ
		事業費 計	0 円	20, 005, 148 円	2, 793, 200 円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金	Ħ	円	Ħ
		県支出金	PI	H	円
財	内	受益者負担金	PI	H	Ħ
源	訳	地方債	P	Ħ	円
		その他	PI	円	Ħ
		一般財源	P	20, 005, 148 円	2, 793, 200 円
	事業費 計		0 円	20, 005, 148 円	2, 793, 200 円

	-	● 貢献している ○ 見直す余地がある
妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	奨励措置により,企業誘致が図られ,新たな雇用創出につながっています。 理由
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	● 妥当である
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	余地がない
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	● 可能性がある
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	● 可能性がある ● 可能性がない ● 類似事業はない 理由
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。	・ 余地がない
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	○ 適正である○ 見直す余地がある● 受益者負担を求める事業ではない理由

	継続 (● 現状維持 ● 縮小 ● 改善	善
	【理由】	
今後の方向性	: なお、町道103号線の延長及び大平地区 く、さらなる企業誘致が必要になると考:	励措置を実施することで,企業誘致を推進します。 ⊠計画の策定後は,企業誘致に適する場所が新たに生じる見込みが高 えます。

●基本情報

事業名(取組名) 地域振興事業							評価番号	5-1-1-2	
担当課 政策企画課 係 地域振興係							□ 予算なし		
	基本方針	【5】みんなが主役でと	もに進むる	まちづくり	予	会計	[01] 一般会計		
	基本施策	【1】町民参加体制の充実					【0102】総務費		
基本	施策	【1】地域活動の活性化	;		科目	項	【010201】総務	管理費	
計画		②積極的なコミュニティ参加の促進				目	【01020107】地	域振興費	
	主な取組					事業	地域振興事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成 21	年度	□ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	7年度:令和	年度) ①	単年度繰り返し	○ 単年度のみ
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	〔□ 全部委託 □	一部委託	□ 補助金等
(すべてチェック)	☑ 町民協働 □ 指	定管理	┧ □ その他 ()
実施形態	☑町単独 □国·県補助	カ事業 □国・県補助	事業+町事業(上乗せ	つ	()
事業概要	町民と行政が協働でま 動の満足感をさらに高め など積極的なPRを推進	られるような機会の	の提供と、住民参		がくりへの参加意欲と活 6体制づくりや情報提供

●実施 ~D0~

事業 業績

町民参加型イベントとして、利根写楽会と協働し、「利根町写真展」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、中止となりました。 県からの委嘱を受けて地域活動を行う「利根町ネットワーカー協議会」に対し、支援を行いました。

		主な歳出の節	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		7 報償費	20, 980	円	円	円
支		10 需用費	252, 944	円	H	円
	内	11 役務費	1, 015	円	H	円
出	訳	18 負担金,補助及び交付金	10, 000	円	10,000 円	10,000 円
				円	円	円
				円	円	円
		事業費計	284, 939	円	10,000 円	10,000 円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金		円	H	円
		県支出金		円	円	円
財	内	受益者負担金		円	H	円
源	訳	地方債		円	H	円
		その他		円	円	円
		一般財源	284, 939	円	10,000 円	10,000 円
		事業費計	284, 939	円	10,000 円	10,000 円

		貢献している
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達 成に貢献していますか。	県からの委嘱を受けて地域活動を行う「利根町ネットワーカー協議会」に対し、支援を行うことで、町の活性化につながっていると考えます。
性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	● 妥当である ○ 見直す余地がある 地域活動を行う団体に対し、町として支援を行うことは妥当であると考えます。
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	・
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	● 可能性がある
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	● 可能性がある ● 可能性がない ● 類似事業はない 理由
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。	・ 余地がない
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	○ 適正である○ 見直す余地がある● 受益者負担を求める事業ではない理由

<u> </u>	, world
	継続 (● 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今後	引き続き、「利根町ネットワーカー協議会」を支援し、連携していくことにより、地域活性化を図ります。
仮の	支援内容については,当該団体と協議の上検討することで,適切な支援に努めます。 「利根町写真展」については,これまで多くの方に作品を出展いただき,毎年おおむね好評な評価をいただ!
. –	いていましたが、近年、出展者の固定化及び作品数の減少が顕著となっていました。これに加え、新型コロナ
	ウイルス感染症の影響により開催中止が続いています。これらの状況を鑑み, 「利根町写真展」事業について
Ιエ	16、 7個3千度をもりで終りといたします。

●基本情報

事業名(取組名) 住民自治基本条例策定事業							評価番号	5-1-3-1 (1)
担当課 政策企画課 係 地域振興係						□ 予算なし		
	基本方針	【5】みんなが主役でと	まちづくり	予	会計	【01】一般会計		
	基本施策	【1】町民参加体制の充実					【0102】総務費	
基本	施策	【3】町民参画体制の充	実		科目	項	【010201】総務	管理費
計画		①まちづくりへの参画基	まちづくりへの参画基盤の充実			目	【01020106】企	画費
	主な取組					事業	住民自治基本条	例策定事業

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	30 年度	□ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終 ⁻	了年度:令和	年度)	単年度繰り返し	○ 単年度のみ
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	〔□ 全部委託	□ 一部委託 〕	□ 補助金等
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理	る 日 その他	()
実施形態	☑町単独 □国·県補I	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上野	乗せ) □その他	()
事業概要	的なルールを定める自治 会, 町内各種団体, 行政	基本条例の検討や 職員及び学識経験: 実情に沿った条例	策定等を行うた 者により構成さ 制定を目指し、	とめ、公募により される「利根町自	民や町の責務などの基本 リ選出された町民や、議 目治基本条例検討委員 を・研究や条例の名称及

●実施 ~D0~

事業 業績 令和3年度は、利根町自治基本条例検討委員会を計6回開催し、検討を行いました。

		主な歳出の節	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		7 報償費	449, 400	円	231,000 円	273,000 円
		10 需用費	9, 757	円	Ħ	9,900 円
支	内	11 役務費	15, 750	円	8,500 円	9,750 円
出	訳			円	Ħ	H
				円	円	H
				円	円	H
		事業費計	474, 907	円	239, 500 円	292, 650 円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金		円	Ħ	円
		県支出金		円	円	円
財	内	受益者負担金		円	Ħ	円
源	訳	地方債		円	Ħ	円
		その他		円	円	円
		一般財源	474, 907	円	239, 500 円	292, 650 円
		事業費 計	474, 907	円	239, 500 円	292,650 円

		0	貢献している 見直す余地がある
妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。		参加と協働によるまちづくりを実現するため、まちづくりの 規範となる自治基本条例の策定が必要であると考えます。
			妥当である 見直す余地がある
	②町関与の妥当性		町もまちづくりの担い手の一つとして、策定に関わることが
	町が事業主体として事業を行うことが	理	重要であると考えます。
	妥当ですか。	由	
	@4#.a4.LAU	•	余地がない 見直す余地がある
	③成果の向上余地	9	定期的な会議の開催により、条例策定に向け着実に検討が進 んでいるため、これを継続します。
	事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	
	④廃止・休止の可能性		可能性がある 可能性がない
有 効	事業の内容や成果から廃止・休止でき	理	参加と協働によるまちづくりの実現のため、自治基本条例を 策定することは重要であり、事業廃止の可能性はありません。
性	ますか。	由	
			○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。		一月形住がある 一月形住がない 一旦 無政事業はない
		理由	
		•	余地がない 余地がある
効 率	⑥事業費の削減余地		現状の事業費で適正と考えます。
性	成果を下げずにコスト削減できます か。	理由	
公 平 性		_	適正である 見直す余地がある 受益者負担を求める事業ではない
	⑦受益者負担の適正化		又並白只にもそろの世界ではなくこ
	事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	理	
		由	

	継続 (● 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携	
	【理由】	
今後	引き続き、自治基本条例の策定に向け、検討を進めていきます。	
後の		
の方		
向 性		
性		

●基本情報

事業名(取組名) 住民協働事業							評価番号	5-1-3-1 (2)	
担当課 政策企画課 係 地域振興係							□ 予算なし		
	基本方針	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり				会計	【01】一般会計		
	基本施策	【1】町民参加体制の充実				款	【0102】総務費		
基本	施策	【3】町民参画体制の充実					【010201】総務	管理費	
計画		①まちづくりへの参画基	まちづくりへの参画基盤の充実		目	目	【01020107】地	域振興費	
I	主な取組					事業	住民協働事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	● なし ○ あり	名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	25 年度	事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	了年度:令和	年度)	単年度繰り返し	, 〇 単年度のみ
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	(全部委託	□ 一部委託 〕	□ 補助金等
(すべてチェック)	☑ 町民協働 □ 指	定管理	j දග(也 ()
実施形態	✓町単独 □国·県補助		事業+町事業(_	,	
事業概要	住民団体が自主的又はで、協働のまちづくりの		実施する公益	:性のあるまちづ	くり事業を支援すること

●実施 ~D0~

→ 利根町住民協働事業補助金 ○令和3年度交付実績 スタート型 1件, ステップアップⅠ型 2件

事業 業績

		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		7 報償費	円	12,600 円	12,600 円
		11 役務費	円	390 円	390 円
支	内	18 負担金,補助及び交付金	294, 339 円	300,000 円	431,647 円
出	訳		円	円	円
			円	円	円
			円	円	円
		事業費 計	294, 339 円	312,990 円	444, 637 円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
財	内	受益者負担金	円	円	円
源	訳	地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
		一般財源	294, 339 円	312,990 円	444, 637 円
		事業費 計	294, 339 円	312, 990 円	444, 637 円

	a	● 貢献している ○ 見直す余地がある	
	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	住民協働事業制度により、協働のまちづくりの推進が図られていると考えます。 由	ı
性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	● 妥当である ○ 見直す余地がある ○ 見直す余地がある │ 協働においては、行政と町民がそれぞれの役割に基づき事まを実施することが重要であると考えます。	集
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	余地がない	<u>**</u>
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	○ 可能性がある ● 可能性がない 求められる行政サービスの多様化により、行政だけでは課題解決が困難となっている現状において、町民との協働によるである。 ちづくりの重要性が高まっており、事業の継続が必要であると考えます。	ま
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	○可能性がある○可能性がない●類似事業はない理由	
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。	● 余地がない ○ 余地がある 現状の事業費で適正と考えます。 理由	
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	適正である ○ 見直す余地がある● 受益者負担を求める事業ではない理由	

	継続 (現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今	利根町住民協働事業補助金については、制度改正を実施したことにより、前年度より提案件数が増加しまし
	た。引き続き,住民団体の自立促進及び地域課題の解決を図り,協働のまちづくりを実現するため,本補助金 制度を継続していきます。
方	
向 性	
1111	

●基本情報

事	事業名(取組名)	大学との連携事業					評価番号	5-1-4-1
	担当課	政策企画課	係	地域振興係			□ 予算なし	
	基本方針	【5】みんなが主役でと	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり 【1】町民参加体制の充実				【01】一般会計	
	基本施策	【1】町民参加体制の充					【0102】総務費	
基本	施策	【4】日本ウェルネスス	ポーツ大学	学との連携強化	科目	項	【010201】総務	管理費
計画		①大学との連携事業の推	進			目	【01020107】地	域振興費
	主な取組			事業	大学との連携事	業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	● なし ○ あり	名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	24 年度	事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終 ⁻	了年度:令和	年度)	● 単年度繰り返し	○ 単年度のみ
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	〔 全部委託	□ 一部委託 〕	□ 補助金等
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理 事務局	∃ その他	()
実施形態	☑町単独 □国·県補I	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上	乗せ) □その他	()
事業概要	町と日本ウェルネスス して地域活性化を図りま		携に関する協定	臣書に基づき,力	、学との連携事業を実施

●実施 ~D0~

日本ウェルネススポーツ大学石田良恵教授に講師を依頼し、公開講座を1回実施しました。また、「キャンパスライフ応援マップ」を作成・配布し、学生生活支援を行いました。 日本ウェルネスポーツ大学コルフ部所属選手が東京オリンピックに出場し、銀メダルを獲得したことに伴

事業
日本ウェルネススポーツ大学ゴルフ部所業績
い、懸垂幕を制作し、周知を行いました。

大学内での新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため支援金を交付しました。

		主な歳出の節	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		7 報償費	80, 000 F	円	40,000 円	40,000 円
		10 需用費	103, 983 F	円	313, 410 円	181,610 円
支	内	17 備品購入費	F	円	円	22,000 円
出	訳	18 負担金,補助及び交付金	F	円	500,000 円	1,000,000 円
			F	円	円	円
			F	円	円	円
	事業費 計		183, 983	円	853, 410 円	1,243,610 円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		主な歳入の科目国支出金		円	令和2年度(実績) 500,000 円	令和 3 年度(実績) 1,000,000 円
			F	円 円		
財	内	国支出金	F		500,000 円	1,000,000 円
財源	内訳	国支出金	F F	円	500,000 円	1,000,000 円
	内訳	国支出金 県支出金 受益者負担金	F	円 円	500,000 円 円	1,000,000 円 円
	内訳	国支出金 県支出金 受益者負担金 地方債	F F	円 円 円	500,000 円 円 円	1,000,000 円 円 円

		• I	貢献している	見直す余地がある
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。		上,大学支援を実施する。	相互の活性化が図られました。ま ことで、大学との連携の推進が図られ
性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	 連携事業の実施により、なた。 連携事業を実施により、なた。 受当である 受当である 大学連携にあると考えます。 会地がない 事業を関する 会地がない 事業のできる 会地がない 事業のできる 事業のできる 会地がない 事業のできる 事は、まます。 のまます。 のままするまます。 のまます。 のままするます。 のままするます。 のままするます。 のままするます。 のままするます。 のままするます。 のままするます。 のままするまするます。 のままするまするます。 のままするまするまするます。 のままするまするまするまするまするます。 のままするまするまするまするまする	見直す余地がある 町と大学の双方が主体的に取り組むこ す。	
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理は	公開講座及びキャンパス 事業の一環として地域活性 は、大学との連携事業の	見直す余地があるスライフ応援MAPについては、大学連携性化に貢献していると考えます。今後さらなる拡充に向け、大学と協議、検
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理	日本ウェルネススポーツ)可能性がない ツ大学は、町内唯一の大学であり、今 に取り組むことが重要と考えます。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理	可能性がある 一可能性がある	がない ●類似事業はない
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。	理		
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。		適正である	≣す余地がある ∖

	継続 (() 現状維持 () 縮小 (● 改善 () 拡大 () 休止 () 廃止(終了) () 統廃合 (○連携
	【理由】
今	引き続き,日本ウェルネススポーツ大学と連携して事業を実施し,相互の活性化を図るとともに,連携事業
_	のさらなる拡充に向け、大学との協議、検討を進めていきます。
の方	
向	
性	

●基本情報

=	事業名(取組名)	男女共同参画推進事	業		評価番号	5-2-6-1 • 2			
	担当課 政策企画課 係 政策企画係						□ 予算なし		
	基本方針	【5】みんなが主役でと	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり 【2】誰もが尊重される環境の整備						
基	基本施策	【2】誰もが尊重される	【2】誰もが尊重される環境の整備				【0102】総務費		
本計	施策	【6】男女共同参画社会	の充実		科目	項	【010201】総務	管理 費	
画	主な取組		計画に基づく施策の推進			田	【01020106】企	画費	
	工な収価					事業	男女共同参画推	進事業	

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	○ なし ● あり	名称 男女共同	司参画社会基	本法			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	25	年度	□ 事業開始年度	不明
事業期間	○ 期間限定あり(事業終う	了年度:令和	年度)		単年度繰り返し	○ 単年度のみ	
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	〔 全部委託	E 🗆 -	一部委託	□ 補助金等	
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理	<u></u> ∃ ₹0)他 ()
実施形態	☑町単独 □国·県補I	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上乗せ)	□その他	()
事業概要	男女共同参画推進協議 する啓発を行います。 住民意識調査を基に計 施します。					៖加等男女共同参)実現に向けた取	

●実施 ~D0~

「第2次利根町男女共同参画推進プラン2020~2024」,「利根町男女共同参画推進条例」に基づき町民や職員に対し男女共同参画に関する周知啓発を行いました。 「広報とね」で男女共同参画における情報を毎月掲載し、啓発に努めました。また、庁舎イベントホールにおいて、6月の「男女共同参画間」,及び11月の「男女共同参画推進月間」でパネル展を実施しました。 事業 業績

	主な歳出の節		令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		7 報償費	141,000 円	96,000 円	Ħ
		10 需用費	105, 589 円	32, 230 円	13,772 円
支	内	11 役務費	9,860 円	5,440 円	Ħ
出	訳	7 報償費	円	円	64, 200 円
			円	円	Ħ
			円	円	円
		事業費計	256, 449 円	133, 670 円	77,972 円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		国支出金	Ħ	円	Ħ
		県支出金	Ħ	円	円
財	内	受益者負担金	Ħ	円	Ħ
源	訳	地方債	Ħ	H	Ħ
		その他	Ħ	円	Ħ
		一般財源	256, 449 円	133, 670 円	77,972 円
		事業費計	256, 449 円	133,670 円	77,972 円

				O =
	@Thm 0 + 1	•	貢献している	見直す余地がある
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由	同参画推進条例を制定	共同参画社会の実現のため、利根町男女共定し、広報やイベント、研修を通して町民の創生を図っているため、貢献していると
性		•	妥当である	見直す余地がある
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由		社会基本法を定めていることから, 自治体 考えられるため妥当であるといえます。
		0	余地がない	● 見直す余地がある
	③成果の向上余地			ナー更新回数を増やすことや、町民向けの
	事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	理由	男女共同参画に関するさせることができます。	る出前講座の開催などにより,成果を向上 す。
		0	可能性がある	● 可能性がない
有効	④廃止・休止の可能性		②と同義であると考	えますので,廃止・休止はいたしません。
効 性	事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	理由		
			○可能性がある ○可	能性がない ●類似事業はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理由		
		0	余地がない	余地がある
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由		必要な経費で最低限の事業費で運用してい 或の余地はありません。
		0	適正である	見直す余地がある
۸.	⑦受益者負担の適正化	•	受益者負担を求める事業で	はない
公 平	古衆中のから至著さの名中別へは安子			
性	事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	理		
		由		

	継続 (○ 現状維持 ○ 縮小 ● 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○ 連携
	【理由】
今	役場庁舎内1階の掲示板に男女共同参画コーナーを設置し、更新回数を増やすことや、町民向けの男女共同
	参画に関する出前講座を開催するなど、男女共同参画に関する周知・啓発方法の改善を行い、男女共同参画社
方	会の実現を目指します。
向	
性	

●基本情報

事	[業名(取組名)	ワーク・ライフ・バ	ランスの	評価番号	5-2-6-3			
	担当課 政策企画課 係 政策企画係					☑ 予算なし		
	基本方針	【5】みんなが主役でと	まちづくり		会計			
基	基本施策	【2】誰もが尊重される		予算	款			
本計	施策	【6】男女共同参画社会	の充実		科目	項		
画	<u>→</u> +> 8π48	③ワーク・ライフ・バラ	ワーク・ライフ・バランスの推進			目		
	主な取組					事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	○ なし	あり	名称	男児共同	同参画社会基	本法			
新規・継続	○ 新規	● 継続	事業開	始年度	平成	25	年度	□ 事業開始年度	[不明
事業期間	○ 期間限況	Eあり(事業終了	7年度:令和	和	年度)	•	単年度繰り返し	○ 単年度のみ	
実施手法	✓ 町が直接	段実施(直営)		委託	〔 全部委託		一部委託	□ 補助金等	
(すべてチェック)	□ 町民協働	ы □ 指	定管理	事務局	i	他 ()
実施形態	可単独	□国·県補即	加事業 [国・県補助	事業+町事業(.	上乗せ)	□その他	()
事業概要		ームページ及 連情報の充実			置の男女共同	参画:	コーナーにお	: けるワーク・ラ	イフ・

●実施 ~D0~

役場イベントホールの男女共同参画コーナーにおいて、ワーク・ライフ・バランス関連情報のポスター等の 掲示を行いました。また、男女共同参画推進月間では庁舎イベントホールにおいてパネル展を実施し、来庁者 事業 及び職員の啓発に取り組みました。 業績 主な歳出の節 令和元年度(実績) 令和2年度(実績) 令和3年度(実績) 支 訳 出 事業費 計 主な歳入の科目 令和3年度(実績) 令和元年度 (実績) 令和2年度(実績) 国支出金 県支出金 財 受益者負担金 訳 地方債 源 その他 一般財源 事業費 計

		
	Q	● 貢献している ○ 見直す余地がある
妥业	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	本町における男女共同参画社会の実現のため町民や職員への ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいることから、 貢献しているといえます。
妥 当 性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	● 妥当である
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	○ 余地がない
有 効 性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	○ 可能性がある● 可能性がない②と同義であると考えますので、廃止・休止はいたしません。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	○可能性がある○可能性がない●類似事業はない理由
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	● 余地がない ○ 余地がある 理由 (1)
公 平 性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	適正である● 受益者負担を求める事業ではない理由

	継続 (○ 現状維持 ○ 縮小 ● 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今	役場庁舎内1階の掲示板に男女共同参画コーナーを設置し、更新回数を増やすことや、町民向けの男女共同
後の	参画に関する出前講座を開催するなど、男女共同参画に関する周知・啓発方法の改善を行い、ワーク・ライ
の方	フ・バランスの推進を図ります。
向	
性	

●基本情報

事	業名(取組名)	暴力・ハラスメント	対策及び	評価番号	5-2-6-4			
	担当課 政策企画課 係 政策企画係					☑ 予算なし		
	基本方針	【5】みんなが主役でと	みんなが主役でともに進むまちづくり					
基	基本施策	【2】誰もが尊重される		予算	款			
本計	施策	【6】男女共同参画社会	の充実		科目	項		
画	主な取組	④暴力・ハラスメント対	暴力・ハラスメント対策及び被害者支援					
	土谷外祖					事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	○ なし ● あり	名称 男女共同	司参画社会基	本法			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	25	年度	事業開始年度不明	明
事業期間	○ 期間限定あり(事業終う	了年度:令和	年度)	\[\begin{array}{c} & \leq \]	単年度繰り返し	○ 単年度のみ	
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	(全部委託	- 🗆	一部委託	□ 補助金等	
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理	□ ₹0	他 ()
実施形態	☑町単独 □国·県補I	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上乗せ)	□その他	()
事業概要	町公式ホームページや	広報紙等を通じた	啓発活動の写	ミ施を行	ういます 。		

●実施 ~D0~

役場イベントホールの男女共同参画コーナーにおいて、11月12日から25日の「女性に対する暴力をなくす運動」に関するポスター等を掲示しました。さらに「広報とね12月号」では、「女性に対する暴力」~ドメス ティック・バイオレンスについて~の記事を掲載を行いました。 事業 業績 主な歳出の節 令和元年度(実績) 令和2年度(実績) 令和3年度(実績) 支 訳 出 事業費 計 主な歳入の科目 令和3年度(実績) 令和元年度 (実績) 令和2年度(実績) 国支出金 県支出金 財 受益者負担金 訳 地方債 源 その他 一般財源 事業費 計

		● 貢献している
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達 成に貢献していますか。	本町における暴力・ハラスメント対策のため取り組んでいることから、貢献しているといえます。 由
性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	● 妥当である
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。	● 見直す余地がある 11月の「女性に対する暴力をなくす運動」の際だけでなく、 男女共同参画コーナーや、広報とねにおいて取扱う回数を増や すなどにより、成果を向上させることができます。
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	● 可能性がある ● 可能性がない ②と同義であると考えますので、廃止・休止はいたしません。 理由
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	● 可能性がある ● 可能性がない ● 類似事業はない 理由
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	・ 余地がない 余地がある理由
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	適正である● 受益者負担を求める事業ではない理由

継続	(現状維持	() 縮小	② 改善	○ 拡大)(休止	() 廃止 (終了	7) ()統廃合	○連携
【理由】								
						ことにより、ス	本町で暴力・バ	ヽラスメント等で
苦しんで	いる被害有の人	っへの文法	でさるよう	う労めよう	0			
	【理由】 役場庁 ムページ	【理由】 役場庁舎内1階掲示札 ムページ等において、県	【理由】 役場庁舎内1階掲示板の男女共 ムページ等において、県相談窓口	【理由】 役場庁舎内1階掲示板の男女共同参画コー ムページ等において、県相談窓口の案内用・	【理由】 役場庁舎内1階掲示板の男女共同参画コーナーや広 ムページ等において、県相談窓口の案内用ページなと	【理由】 役場庁舎内1階掲示板の男女共同参画コーナーや広報とねなど	【理由】 役場庁舎内1階掲示板の男女共同参画コーナーや広報とねなどで取り扱う回数 ムページ等において、県相談窓口の案内用ページなどを作成することにより、ス	【理由】 役場庁舎内1階掲示板の男女共同参画コーナーや広報とねなどで取り扱う回数を増やすこと ムページ等において、県相談窓口の案内用ページなどを作成することにより、本町で暴力・/

●基本情報

事	葉名(取組名)	行政改革推進事務					評価番号	5-4-11-1
担当課 政策企画課 係 政策企画係						□ 予算なし		
	基本方針	【5】みんなが主役でと	もに進むま	まちづくり	予	会計	【01】一般会計	
基	基本施策	【4】効果的・効率的な行財政運営の推進					【0102】総務費	
本計	施策	【11】行政改革の推進			科目	項	【010201】総務	管理費
画	主な取組	①行政改革行動計画の推	行政改革行動計画の推進				【01020109】行	政事務改善費
	上や状心					事業	行政改革推進事	務

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	○ なし	● あり	名称	利根町新	f行財政改革	行動計	·画		
新規・継続	○ 新規	● 継続	事業開	始年度	平成	22	年度	□ 事業開始年度	逐不明
事業期間	○ 期間限況	Eあり(事業終了	7年度:令和	和	年度)	<u> </u>	単年度繰り返し	○ 単年度のみ	
実施手法	✓ 町が直接	☑ 町が直接実施(直営)							
(すべてチェック)	□ 町民協働	動	定管理	事務局	i	他 ()
実施形態	可単独	□国・県補助	加事業 [国・県補助	事業+町事業(上乗せ)	□その他	()
事業概要		行財政改革行 を求めます。	動計画の耳	仮組実績 (こついて, ぞ	 一政改革	适本部会議及	び行政改革懇談	会に報

●実施 ~D0~

業績

令和3年度は、利根町新行財政改革行動計画に基づき4つの視点及び80の具体的な取組項目により行財政改革に取り組むことで、町の最上位計画である「第5次利根町総合振興計画」に基づいた効果的、効率的な行財政運営を推進することができました。

		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
支出		1 報酬	64,800 円	21,600 円	17,400 円
			Ħ	円	円
	内		Ħ	円	円
	訳		Ħ	巴	円
			Ħ	円	円
			Ħ	巴	円
		古米串 三	C4 000 FF	01 000 11	17 400 E
		事業費 計	64,800 円	21,600 円	17, 400 円
		事業質 計 主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
財	内	主な歳入の科目 国支出金	令和元年度(実績) 円	令和2年度(実績)	令和3年度(実績) 円
財源	内訳	主な歳入の科目 国支出金 県支出金	令和元年度(実績) 円 円	令和2年度(実績) 円 円	令和3年度(実績) 円 円
		主な歳入の科目 国支出金 県支出金 受益者負担金	令和元年度(実績) 円 円	令和 2 年度(実績) 円 円	令和3年度 (実績) 円 円
		主な歳入の科目 国支出金 県支出金 受益者負担金 地方債	令和元年度(実績) 円 円 円 円	令和2年度(実績) 円 円 円 円 円	令和3年度 (実績) 円 円 円

- H. I.	-	
	0-10-00	● 貢献している ○ 見直す余地がある
妥	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	行革本部及び懇談会に取組実績を報告し、進行管理に努めているため、貢献しているといえます。 由
妥 当 性	②町関与の妥当性	● 妥当である ○ 見直す余地がある
	町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	町の行政改革を推進する事業ですので、妥当であると考えます。 由
		○ 余地がない ● 見直す余地がある
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を	行動計画の事業内容を含めた見直しを毎年度実施しているため、向上させることができます。
	向上させることができますか。	苗
	② ○	○ 可能性がある ● 可能性がない
有 効 性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき ますか。	行政改革は、町の姿勢として常に行うべきでありますので、 廃止・休止はありません。 由
		○可能性がある ●可能性がない ○類似事業はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。	理 由
		● 余地がない ○ 余地がある
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	事業費は、懇談会委員への報酬のみであり、必要経費ですのでコスト削減の余地はありません。
		○ 適正である ○ 見直す余地がある
公	⑦受益者負担の適正化	● 受益者負担を求める事業ではない
平 性	事業内容から受益者の負担割合は適正	理
	ですか。	由

	継続 (● 現状維持 ○ 縮小 ○ 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今後の方向性	「利根町新行財政改革行動計画」に基づき事業に取り組み、取組実績を毎年度本部及び懇談会に報告し、必要に応じて計画の見直しを行います。

●基本情報

昌	葉名(取組名)	1 電子自治体推進					評価番号	5-4-12-4
担当課 政策企画課 係 情報政策係					□ 予算なし			
	基本方針	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり					【01】一般会計	
	基本施策	【4】効果的・効率的な	行財政運富	営の推進	一 予 算 科	款	【0102】総務費	
基本	施策	【12】行財政の健全な	【12】行財政の健全な運営					管理費
計画		④行政の電子化の推進			一目	目	【01020109】行	政事務改善費
	主な取組					事業	電子自治体推進	事業

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称					
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	年度	✓ 事業開始年度不明			
事業期間	○ 期間限定あり (事業終	了年度:令和	年度) ● 単年度繰り返	豆し 〇 単年度のみ			
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	☑ 町が直接実施(直営)					
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指定管理 □ 事務局 □ その他 ()						
実施形態	✓町単独 □国・県補助	☑町単独 □■・県補助事業 □■・県補助事業+町事業(上乗せ) □その他()					
事業概要	庁舎内で使用するシステ	ムの保守管理及び	情報セキュリティ強化対策を	を行います。			

●実施 ~D0~

		主な歳出の節	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)		令和3年度(実績)	
支		12 委託料	9, 470, 182	田	22, 206, 800	円	37, 568, 014	円
		13 使用料及び賃借料	21, 859, 142	円	61, 227, 212	円	66, 779, 180	円
	内	14 工事請負費	0	円	0	円	12, 540, 000	円
出	訳	17 備品購入費	608, 600	田	4, 055, 920	円	4, 720, 540	円
		18 負担金,補助及び交付金	10, 347, 658	丑	10, 087, 080	円	8, 369, 891	円
		その他	2, 584, 111	円	3, 576, 221	円	2, 884, 776	円
		事業費計	44, 869, 693	円	101, 153, 233	円	132, 862, 401	円
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)		令和2年度(実績)		令和3年度(実績)	
		国支出金	2, 391, 000	田	5, 901, 584	円	31, 223, 293	円
		県支出金		円	25, 469, 049	円	24, 510, 784	円
財	内			1 1	20, 100, 010	. ,	, ,	1 1
財	内	受益者負担金		円	20, 100, 010	円		円
財源	内訳	受益者負担金 地方債		-	20, 100, 010			
				円	4, 355, 800	円	3, 849, 700	円
		地方債	42, 478, 693	円円		円円		円円

● 貢献にいる ● 見面す余地形ある			_		
要当性		@ TL 100 Et A H		貢献している	見直す余地がある
②町関与の妥当性	妥。	事業目的が上位政策(主な取組)の達		用と管理を実施し、行政 ます。また、確実な情報	事務の簡素化と効率化を図ることができてい セキュリティ対策を講じ、町民に信頼される
町が事業主体として事業を行うことが 要当ですか。 ③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。 ④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。 ④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。 ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果を 関しているため情報セキュリティ対策は不可欠です。 ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。 ⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。 ⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。 ② 会地がない ② 見値す余地がある ② 可能性がない ② 対策は不可欠です。 ② 可能性がない ② 対策は不可欠です。 ② 可能性がない ② 対策は不可欠です。 ② 可能性がない ② 対策は不可欠です。 ② 可能性がない ② 対策は不可欠です。 ② 可能性がない ② 対策をおいる ② 対策をおいる ② 対域の表別できますが。 ② 会地がある ② システムや機器の更新については、類似システム等との比較検討を十分に行い、入札等により適正な価格での導入を行ってまいります。 ③ 適正である ② 見値す余地がある ② 受益者負担を求める事業ではない 理	性	© 15-11 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 1	0	~~~~	<u> </u>
②成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。 「中生」を対している。 「中生」を対している。 「中生」を対している。 「の異なり削減余地 をしている。 「の異なり削減余地 が、。 「の異を下げずにコスト削減できますか。 「の異を下げずにコスト削減できますか。 「の異なり削減余地 が、。 「の異を下げずにコスト削減できますか。 「の異なり削減余地 ないます。 「の異なりでは、類似システム等との比較 検討・といいでは、類似システム等との比較 検討を十分に行い、入札等により適正な価格での導入を行って まいります。 「の異なり削減余地 ないます。 「の異なり削減余地 ないます。 「の異なり削減余地 ないます。 「の異なり、一般により適正な価格での導入を行って まいります。 「の異なりないないます。 「の異なり、一般により適正な価格での導入を行って まいります。 「の異なり、一般により、一般		町が事業主体として事業を行うことが			
事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができますか。 本業の内容や成果から廃止・休止できますか。			0	余地がない (● 見直す余地がある
由 とで、成果の向上を図ります。 由 とで、成果の向上を図ります。 日 とで、成果の向上を図ります。 日 日 とで、成果の向上を図ります。 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		③成果の何上余地			
④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。 ① 対験のでは、対象ではに行政の電子化は必要であり、また、サイバー攻撃等が高度化・複雑化しているため情報セキュリティ対策は不可欠です。 ② 可能性がある ② 可能性がない ◎ 類似事業はない ② 対験の事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。 ② 会地がない ② 会地がある ② システムや機器の更新については、類似システム等との比較検討を十分に行い、入札等により適正な価格での導入を行ってまたいります。 ② 受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 理 ② 受益者負担を求める事業ではない 理 ② 受益者負担を求める事業ではない 理 ② 受益者負担を求める事業ではない ② 受益者負担を求める事業ではない					
事業の内容や成果から廃止・休止できますか。 理由 「つ能性がある」 ● 気地がない ● 気地がある 「の事業費の削減余地成果を下げずにコスト削減できますか。 システムや機器の更新については、類似システム等との比較検討を十分に行い、入札等により適正な価格での導入を行ってまか。 「の要益者負担の適正化事業内容から受益者の負担割合は適正である」 ● 受益者負担を求める事業ではない 理由 ・ 適正である ・ 見直す余地がある ・ 要益者負担を求める事業ではない ・ 受益者負担を求める事業ではない			0	31331273 3	3 • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
### ### ### #########################	1月				
 ⑤類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。 ⑥事業費の削減余地成果を下げずにコスト削減できますか。 ⑥事業費の削減余地は対象を下げずにコスト削減できますが。 ② 余地がない ● 余地がある システムや機器の更新については、類似システム等との比較検討を十分に行い、入札等により適正な価格での導入を行ってまいります。 ② 適正である ● 見直す余地がある ● 受益者負担を求める事業ではない 					
類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。 ② 余地がない ② 余地がある ③ 事業費の削減余地 が、 ② 余地がある ※ 対象を下げずにコスト削減できますが。 ② 余地がない ② 余地がある ※ システムや機器の更新については、類似システム等との比較検討を十分に行い、入札等により適正な価格での導入を行ってまいります。 ③ 適正である ② 見直す余地がある ※ 受益者負担を求める事業ではない 理 またが、 ② 受益者負担を求める事業ではない 理 またが、 ② 受益者負担を求める事業ではない 理 またが、 ② 見直す余地がある ② 受益者負担を求める事業ではない				○可能性がある ○可能	性がない ●類似事業はない
 ⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できます か。 ③正である ②見直す余地がある ②受益者負担の適正化		類似事業との統廃合・連携を図ること			
が。			0	3.2000	
成果を下げずにコスト削減できます					
② 受益者負担の適正化	性		_		16年にあり歴史を開出ての乗りに195
公 プラニュー 日本の			_		
平 事業内容から受益者の負担割合は適正 理 理	公	⑦受益者負担の適正化	0	受益者負担を求める事業では	ない
	平	事業内容から受益者の負担割合は適正	IHI		
	Ι±	ですか。			

	継続 (○ 現状維持 ○ 縮小 ● 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今	現在、国において「デジタル・ガバメント実行計画」が策定され、国と地方の真のデジタル化に向けた方向
	性が明確化されたことにより、行政手続きのオンライン化や自治体情報システムの標準化・共通化に向けた対
方	心を主点状心事項として推進し、住民サービスの同工と打政建省のとうなる効率化を目指してよいがより。
白	
性	

●基本情報

事業名(取組名) 公共施設の相互利用(龍ケ崎市・我孫子市)					評価番号	5-4-13-1 (1)		
担当課		政策企画課 係 政策企画係					☑ 予算なし	
	基本方針	【5】みんなが主役でと	まちづくり	予	会計			
基	基本施策	【4】効果的・効率的な	【4】効果的・効率的な行財政運営の推進					
本計	施策	【13】広域行政の推進			科目	項		
画	主な取組	①広域的連携の強化			_	目		
	工み収加					事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	● なし	○ あり	名称					
新規・継続	○ 新規	● 継続	事業開	始年度		年度	✓ 事業開始年度	逐不明
事業期間	○ 期間限定	あり(事業終了	7年度:令和	1	年度)	● 単年度繰り返し	○ 単年度のみ	
実施手法	✓ 町が直接	実施(直営)	実施(直営) 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日					
(すべてチェック)	□ 町民協働	」	定管理	事務局	i	也 ()
実施形態	夕 町単独	□国·県補即	加事業 🗌	国・県補助	事業+町事業(」	二乗せ) 【その他	()
事業概要	施設相互利用		定」を締約			を目的に,龍ケ崎 子市それぞれの住		

●実施 ~D0~

事業業績			龍ケ崎市文化会館や龍ケ崎市: の間では、我孫子市民図書館				
		主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)		
支	内						
出	訳						
		事業費 計					
		主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)		
		国支出金					
		県支出金					
財	内	受益者負担金					
源	訳	地方債					
		その他					
		一般財源					
		事業費 計					

- H. I.	-		
	0-10-00	•	貢献している 見直す余地がある
妥	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。	理由	町民の利便性向上と公共施設の利用促進,地域間交流が図れているため,貢献しています。
妥当性	②町関与の妥当性	•	妥当である 見直す余地がある 広域的連携の強化は、自治体同士の横の繋がりが重要となり
	町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。	理由	ますので、町が主体となることは妥当であります。
	③成果の向上余地	0	余地がない ● 見直す余地がある
	●成未の向工示地 事業内容を工夫することにより成果を	理	町民サービスの向上を図るとの観点から、相互利用できる施 設等を見直すなどの余地はあります。
	向上させることができますか。	由	
		0	可能性がある 可能性がない
有効	④廃止・休止の可能性	理	町民サービスの向上を図るとの観点から、廃止・休止の可能 性はあません。
性	事業の内容や成果から廃止・休止できますか。		
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できますか。		○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない
		•	余地がない
効 率	⑥事業費の削減余地	理	
性	成果を下げずにコスト削減できますか。	由	
			適正である 見直す余地がある
公	⑦受益者負担の適正化	0	受益者負担を求める事業ではない
平 性	事業内容から受益者の負担割合は適正 ですか。	理	
	C 7 13.0	由	

	継続 (○ 現状維持 ○ 縮小 ● 改善 ○ 拡大) ○ 休止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○連携
	【理由】
今	町民サービスの向上を図るため、龍ケ崎市・我孫子市との連携を強化するとともに、相互利用については、 新されて利用するような影響について冷計を行い、水道に繋ります。
後の	新たに利用可能となる施設等について検討を行い、改善に努めます。
方	
向 性	

●基本情報

事業名(取組名)		まちづくり協議会による情報交換会の実施 (我孫子市)					評価番号	5-4-13-1 (2)
担当課		政策企画課	係	政策企画係			✓ 予算なし	
基本計画	基本方針	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり						
	基本施策	【4】効果的・効率的な行財政運営の推進						
	施策	【13】広域行政の推進						
	主な取組	①広域的連携の強化			- 目	目		
						事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	● なし C) あり	名称						
新規・継続	○ 新規 ●)継続	事業開始年度			年度	✓ 事業開始年度	逐不明	
事業期間	○ 期間限定あり	(事業終了	7年度:令和		年度)	● 単年度繰り返し	○ 単年度のみ		
実施手法	✓ 町が直接実施	☑ 町が直接実施(直営) □ 委託 □ 一部委託 □ 一部委託 □ 補助金等							
(すべてチェック)	□ 町民協働	□ 町民協働 □ 指定管理 □ 事務局 □ その他()							
実施形態	☑町単独	✓町単独 □ 国・県補助事業 □ 国・県補助事業+町事業(上乗せ) □ その他()							
事業概要	我孫子市と本 携強化を図りま		・議会議長	長等で協	義会を組織し	,意見交換会な	どを通して情報共	:有,連	

●実施 ~D0~

● 人 »								
事業業績	令和3年度は、幹事会及び総会を書面により開催し、事業・収支報告を行ったほか、両市町における公共施設の相互利用状況について報告しました。							
	主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)				
支	内							
出	訳							
	事業費計							
	主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)				
	国支出金							
	県支出金							
	内受益者負担金							
	訳 地方債							
	その他							
	一般財源							
	事業費 計							

• # I II	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
妥当性	①政策目的との整合性		貢献している 見直す余地がある
			我孫子市との連携強化が図れているため、貢献しています。
	事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献していますか。		
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当ですか。)妥当である 見直す余地がある
			広域的連携の強化は、自治体同士の横の繋がりが重要となり ますので、町が主体となることは妥当であります。
			まりので、可が主体となることは安国でありまり。
		•)余地がない 見直す余地がある
	③成果の向上余地		現状を継続していくことが重要となります。
	事業内容を工夫することにより成果を	理由	
	向上させることができますか。		
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき	0)可能性がある ● 可能性がない
有 効			広域的連携強化は効果的・効率的な行政運営を図るためには 必要不可欠であることから、廃止・休止の可能性はあません。
纫 性		理由	必要や可欠であることから、廃止・体止の可能性はあません。
	ますか。		
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること	(○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない
	により成果が期待できますか。		
	⑥事業費の削減余地	•	余地がない 余地がある
効 率		理	
性	成果を下げずにコスト削減できますか。		
本市公)適正である 見直す余地がある
	⑦受益者負担の適正化	•	受益者負担を求める事業ではない
	事業内容から受益者の負担割合は適正		
	ですか。	理由	

隽